

令和5年度予算案 **10.5億円(前年度比1.50倍)**

- 地方公共団体による3D都市モデルのデータ整備・更新、活用等を支援する「都市空間情報デジタル基盤構築支援事業」により3D都市モデルの全国整備、地域における社会実装に向けた取組を一層推進。
- 令和5年度より、早期の社会実装を強力に後押しするため、上限1,000万円の定額補助（早期実装タイプ）を創設。

補助対象事業

■ 3D都市モデルの整備経費

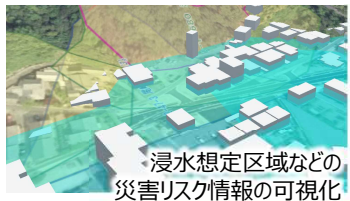
- ✓ 3D都市モデルの整備、3D都市モデルの整備に必要な元データの整備、作成データを可視化するためのシステム導入・改修等

■ 3D都市モデルの活用経費

- ✓ 3D都市モデルを活用したユースケースの実装に必要な分析・シミュレーションやアプリ開発、政策活用等

■ 3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化推進経費

- ✓ 専門家派遣やワークショップ・ピッチイベントの開催、関連情報のデジタル化やGISシステムの導入・改修等



浸水想定区域などの災害リスク情報の可視化



立地適正化計画情報の重ね合わせによる都市の現状把握等



XRを活用した観光・地域活性化コンテンツの創出

補助率

【通常】 定率1/2（通常タイプ）

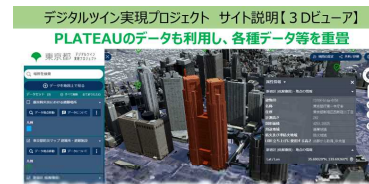
【拡充】 **上限1,000万円の定額補助（早期実装タイプ※）**

※事業初年度に限る（2年目以降は通常タイプによる支援）。

早期に課題解決や新たな価値創造が図られる事業計画が選択可能。

地方公共団体による3D都市モデルの社会実装

（3D都市モデルの自律的な活用事例）



デジタルツイン実現プロジェクト（東京都）

- 東京都のデジタルツインを実現し、都政の様々な領域で活用



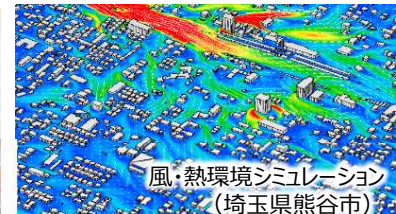
3D都市モデル 一般公開へ
くらしマップおかや（長野県岡谷市）

- 洪水や土砂災害のハザードマップを三次元で一般に提供



災害対応行政支援システム（長野県茅野市）

- 3D都市モデルに住民情報を紐づけ、救助オペレーション等に活用



風・熱環境シミュレーション（埼玉県熊谷市）

- 通風や熱環境等を踏まえたスマートタウン開発の適地選定に活用



3D都市モデル×Minecraft
札幌市 3D都市モデル（北海道札幌市）

- ゲームに3D都市モデルを読み込み、まちづくり教育に活用



浸水シミュレーション（全国48都市239河川）

- 浸水想定区域図等を三次元表示し、住民説明や防災施策検討に活用